

## 月光ソナタ

ソドミ ソドミ ソドミ ソドミ  
闇の中 光と戯れながら  
舞い降りた 音の乙女たち

月光を纏ったソドミの粒  
揺蕩いながら ヴェールを脱ぎ  
夜明けを待っていた

朝日に頬を染め  
初めて聞いた 風の和音  
月影を忘れて 恋をする

空に居なさいと  
言われたのではないけれど  
下界を知らず 過ごした日々

もう少し 違う響きを予感して  
もう少し 磨かれる痛みも期待して  
「降りて来ました」と言うソドミ

月の光に喩えられるなど  
楽聖も知らなかったのだから  
ソドミはこの世にいてもいい